



報告書

タイトル 都心のまちづくり“ひろしまワールドカフェ”
みんなで話そう ～だえんの未来～

目的 広島県と広島市は、連携して都心の活性化に取り組んでおり、平成27年度と平成28年度の2か年で都心の目指す姿や将来像等を示す「都心活性化プラン」を策定することになっています。このたびのワールドカフェは、県民・市民等の皆様から、都心の目指す姿や将来像について、いろいろなご意見をいただくために開催しました。

日時 平成27年**11月29日(日)**
午後1時～午後5時

会場 広島国際会議場「ヒマワリ」
広島市中区中島町1番5号(平和記念公園内)

主催 広島県、広島市



参加人数

●シンポジウム(基調講演・トークセッション)	256名
●ワールドカフェ(トークセッション・ワールドカフェ)	111名

ワールドカフェとは？

カフェにいるようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分けたテーブルで自由な対話を行い、他のテーブルとメンバーを変えて対話を続けながら、参加する全員の意見や知識を集めることができる対話手法の一つです。

基調講演



・基調講演 講師
・トークセッション
コメンテーター

小林重敬

横浜国立大学名誉教授

42年生まれ。東京大学大学院工学研究科博士課程都市工学専攻修了。工学博士。横浜国立大学大学院教授、規制改革委員会参与、参議院国土交通委員会客員研究員などを歴任。現在は、一般財団法人森記念財団理事長、大丸有エリアマネジメント協会理事長、全国市街地再開発協会理事長を兼任。これまでに国土交通省等多くの審議会に参加し、都市政策、住宅政策、土地政策、国土政策などの政策づくりに関与。東京の都市ビジョン、横浜の都心部のまちづくり方針などにも参画した。

トークセッション

トークセッション パネリスト



野村謙二郎

前広島東洋カーブ監督

88年カーブ入団。トリプルスリー、二千本安打達成など、チームリーダーとして活躍。05年引退。10年から5年間監督を務め、16年ぶりに2年連続Aクラスに導いた。

トークセッション パネリスト



松本裕見子

タレント

68年広島市生まれ。安田女子短期大学を卒業。テレビ・ラジオに多くのレギュラー番組を抱え、持ち前の明るいキャラクターで司会、レポートなど幅広く活動している。

トークセッション パネリスト



湯崎英彦

広島県知事

65年広島市生まれ。90年東京大学法学部を卒業し、通商産業省入省。スタンフォード大学経営学修士取得を経て、株式会社アッカ・ネットワークスを創業。09年から現職。

トークセッション パネリスト



松井一寛

広島市長

53年広島市生まれ。76年京都大学法学部を卒業し、労働省入省。厚生労働大臣官房総括審議官、ILO理事、中央労働委員会事務局長などを歴任。11年から現職。

トークセッション コーディネーター



山田知子

比治山大学現代文化学部
マスコミュニケーション学科教授

59年生まれ。奈良女子大学大学院家政学研究科修士課程終了。地域コミュニティ・協働のまちづくりが専門。一般社団法人広島県観光連盟理事等を務めている。

ワールドカフェ

ワールドカフェ ファシリテーター



平尾順平

ひろしまジン大学代表理事

学生時代に海外放浪、仕事で海外滞在を経験。外から広島を見つめ直し、魅力と可能性を強く感じ、これからの広島のためにとの想いで帰郷。ひろしまジン大学設立。

(敬称略)

- 12:00 受付開始
- 13:00 開会
《開会挨拶》 広島市長 松井 一實
- 13:10 **基調講演**
官民連携のまちづくり ～エリアマネジメント～
「都心部における拠点間連携を視野に入れて」
講演者：横浜国立大学名誉教授 小林 重敬
- 14:00 休憩
- 14:15 **トークセッション**
「広島っていいな、と思った体験や思い出。魅力的な都心とは。」
パネリスト 前広島東洋カープ監督 野村 謙二郎
タレント 松本 裕見子
広島県知事 湯崎 英彦
広島市長 松井 一實
コーディネーター 比治山大学現代文化学部
マスコミュニケーション学科教授 山田 知子
コメンテーター 横浜国立大学名誉教授 小林 重敬
- 15:00 休憩
- 15:15 **ワールドカフェ**
「①あなたにとって広島のと都心の魅力は何ですか。」
「②未来の広島のと都心は、どうなっていてほしいですか。」
ファシリテーター
ひろしまシン大学代表理事 平尾 順平
- 17:00 閉会
《閉会挨拶》 広島県地域政策局長 竹中 正博

開会挨拶（広島市長 松井 一寛）



本日、この場に御参加くださった皆さんは、まちづくりに関心を持たれている方、「自分たちのまち是自己たちで創る」という思いを持たれている方だと思います。そんな皆さんに是非お願いしたいのは、本日みんなで描く未来の姿を多くの人に伝え、広げていただきたいということです。

そうすれば、この都心の未来は、本市だけでなく、近隣の市町をも含めた200万人広島都市圏構想の実現、あるいは広島県の発展の原動力になるものと、私は信じています。



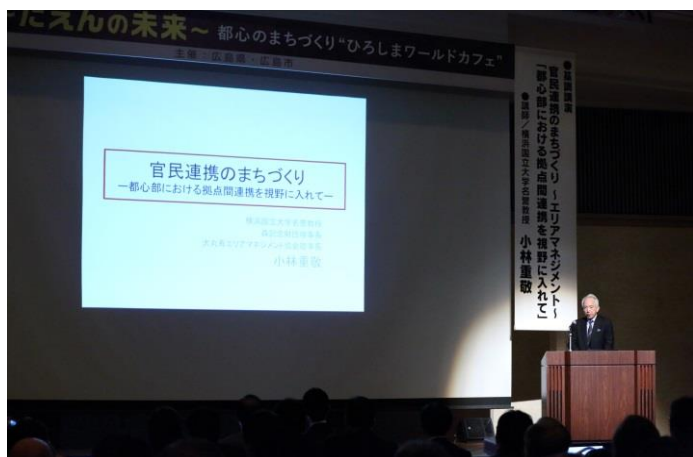
基調講演 官民連携のまちづくり～エリアマネジメント～

「都心部における拠点間連携を視野に入れて」（横浜国立大学名誉教授 小林 重敬）



講演内容

- 1 3都市における官民連携のまちづくり
—大阪市・名古屋市・福岡市—
- 2 エリアマネジメントの考え方
- 3 エリアマネジメントの目的
—欧米(BID・TIF)と日本の違い—



トークセッション「広島っていいな、と思った体験や思い出。魅力的な都心とは。」



パネリスト（前広島東洋カープ監督 野村 謙二郎）

30年近く広島にいる。生まれは大分。東京で4年間過ごし、就職先として広島へ。田舎の人間が言うのもなんだが、広島に来て、田舎だと思っていた。しかし、年々生活していく中で、最近になって、全てのがコンパクトに集まっ
ていていいなと感じるようになった。広島では、どこに行くのも公共交通機関で行ける。自然もあるし、結婚して子供と一緒にキャンプなどに行くこともできる。公園のように子供と触れ合う場所も身近にある。広島の良さを歳を重ねるごとに感じる。若いころは都会に行きたい、甲子園でプレーしたいと思うことはあったが、年々地元にいることが好きになったし、便利だと思えるようになった。



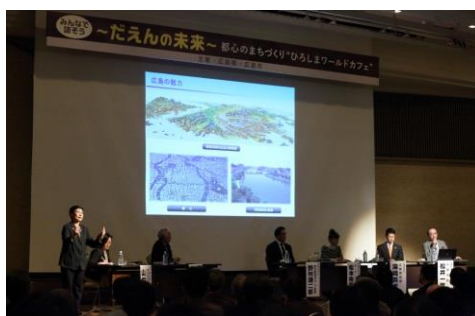
パネリスト（タレント 松本 裕見子）

旧市民球場跡地ではいろんなイベントがあって、そこにみんな遊びに行くというのが広島ではちょっとしたブーム。そういう集まる場所というのを作っていただきたいと思う。私の子供が来年から小学生で、その子供を連れて行ける場所、昔だったら市民球場だったり、デパートの屋上だったり。本通りを、手をつないで歩くなどしたい。「歩いて楽しい本通り」という歌があった。本通りは、歩くだけでも楽しい場所だったので、そんな風に家族みんなが集まれる場所、お父さん・お母さんだけでなく、おじいちゃん・おばあちゃんも一緒に集まれる場所であればよいと思う。



パネリスト（広島県知事 湯崎 英彦）

広島のように、どこに行っても、水があり、川があり、山が見えるというのは他の地域にはなく、素晴らしい。しかし、何か足りないものがあるのではないかと思う。これから人口が大きく減っていき、都市圏が生き残っていくことが課題になる。放っておいてもどんどん発展するという時代ではなくなった。広島は中国・四国地域の拠点都市として、しっかりと牽引していかないと、力を失ってしまう恐れがある。そのために、今日のような活動をして、みんなでビジョンを共有して作ってほしいと思う。そのビジョンに向けて、かなりの長い時間はかかるが、みんなで力を合わせていかなければならない。自分としては、ビルの1階をオープンな空間にしたりして、市民や観光客の方に歩いて楽しいと思ってほしい。商業やサービスなども集積しなくてはならないし、それらにアクセスしやすいようにすべき。また、大変だが、広島らしい統一感のある街並みができれば良いと思う。



トークセッション「広島っていいな、と思った体験や思い出。魅力的な都心とは。」



パネリスト（広島市長 松井 一寛）

まちというのは元々エリアがあって、そこに人がいて、その人が単に通過するのではなくて、時間を過ごすもの。生活するのであればその次にコミュニティがある。エリアと人と生活があって初めてまちができる。人が集まる時に、人間の活動を大きく分けて「ビジネスで金を稼ぐ」という目的意識をもった活動形態と、多少余裕があって「ゆったりと余暇を楽しむ」という2つの使い方がある。

広島はコンパクトなまちと言われていたが、小さいながらその2つをやってやろうという意欲的な場所。だから、いろんな要素がある。その多様性を小さなまちで味わえるという、他所のまちでは味わえない特色を大事にしたいと思っている。それを広島のみちづくりの基本にしたい。



コーディネーター

（比治山大学現代文化学部 教授 山田 知子）

私は広島出身ではないが、ここ広島にもう30年近く住んでいる。

「広島県民であることを自覚し誇りに思い、それを満喫するならカープ観戦」とよく言われた。カープは広島之宝。

また、広島は日本の縮図だと言われたこともある。広島市中心市街地も同じ。川や海も近いし、都心機能も近く、二つのうまみを楽しむことができる。

県と市がつくる「都心活性化プラン」は今よりもっとよいまちをつくるということ。その将来像をみんなで共有していこう、ということだ。



コメンテーター

（横浜国立大学名誉教授 小林 重敬）

エリアマネジメントの大きな目的は地域の方々がその地域をどうするかについて同じ方向を向くということである。

景観面から、皆でこういう風にしようということは、ハードなルールを作って、そうでないとだめだということではなくて、こういう方向を向いてそれを緩やかなルールにして皆で合意しましょうということである。例えばこのような絵を描いたら皆でその絵に合意して、みんなでやっていこうというまちづくりがこれからは重要だと思う。

ワールドカフェ



ファシリテーター
(ひろしまジン大学
代表理事 平尾 順平)

進行方法



■オリエンテーション (進行方法の説明)

■ウォーミングアップ

入場時に各自で自由に選んだテーブルでの話し合い。

【テーマ】

「1部2部の感想を共有」

■おしゃべりタイム1

入場時に各自で自由に選んだテーブルでの話し合い。

【テーマ】

「あなたにとって広島都心の魅力は何ですか？」

■おしゃべりタイム2

テーブル主人を残して、他の方はテーブル移動して、前の席の意見を踏まえた話し合い。

【テーマ】

「さらに魅力的な都心にするために、何が必要ですか？」

■おしゃべりタイム3

テーブル主人を残して、他の方はテーブル移動して、前の席の意見を踏まえた話し合い。

【テーマ】

「さらに魅力的な都心にするために、何が必要ですか？」

■まとめ

最初のテーブルに戻り、情報共有。だえんカードへ記入

【テーマ】

「広島都心の未来には、これが最も必要！！」

「広島都心の未来には、これが最も必要！！」

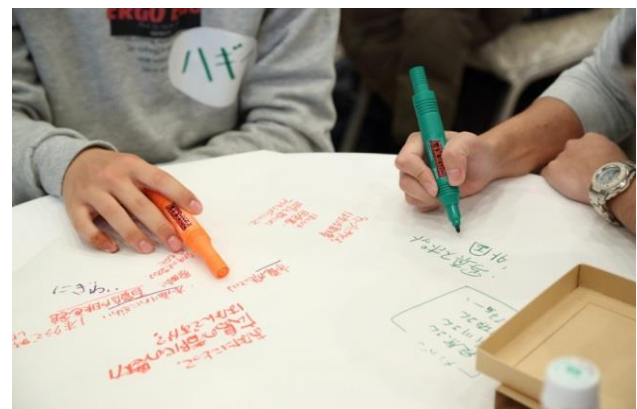
カテゴリ	広島都心の未来には、これが最も必要！！
ビジョン	広島をこうしたい！！という明確なビジョン
	求心力になるビジョン
	明確なビジョン
	明確なテーマを決めること
	明確なゴールの設定
	ストーリー
	最も重要なモノ、違うカラーの連続性のストーリー
	次⇒次⇒次
川(水辺)を活かしたまち	水辺で楽しめるお祭り
	6つの川の両サイドに20m間で本格的な街路灯を。6つの川こそNo.1の観光目玉
	川を活かした街づくり
	川
	川と緑をいかしたにぎわいスポット
芸術・文化・スポーツのまち	ソフトの充実(コンサート・美術)
	Creative Center Hiroshima Koubou. Made in Hiroshima
	宮島、平和公園に続く観光地(美術館など)
	スポーツを活かした
	SUP(スタンドアップパドルボード)
旧広島市民球場にサッカースタジアムを	
平和のまち	平和を考える時間と場所
	平和
	平和などをビジネスに！
	平和でゆったりスローライフ
広島ならではの個性と魅力	他の町にない個性的なまちづくり(アンデルセン、マツダ、サンフレッチェ)
	緑、商業施設、アート…もっとレベルupを！！
	人(自分たちのまちは自分たちでつくる)、モノ(観光資源、歴史的なたてももの)、お金(魅力的なものをつくっていくための)
	広島らしさ
	シンボル。横断的につなぐもの
	資源の「再」発掘＝人(地元)・時間(夜)・都市(川)
	赤いタクシー(cab)とモミジ
	突き抜けたおもしろさ。クオリティ(景観)例:屋台風路面電車
	食とリピーター
	今の「らしさ」
	統一されたいろ(らしさ)(平和・宮島以外)
	便利さ
	“自由”と“自然”

カテゴリ	広島都心の未来には、これが最も必要！！
まちの魅力の 発見と発信	広島の魅力アップと発信
	世界に開かれたまちづくり
	外から見つめる視点(市民以外)
	周り(市外、県外、海外)から見た広島の魅力を自覚する
	まちのみんなが興味・熱を持つような発信が大事だと思う
	市民の自分が自慢できる“コレ”を語れる
	他県民と話して、広島の魅力をもっと知る！！
	広島の人が広島のマチを好きになること
	自信！！
	光
魅力ある 都市空間	市民球場。原点回帰
	市民球場跡地と中央公園の有効活用
	旧市民球場跡地を屋根つき施設にする。
	地下都市が必要！！
	空間の有効活用
	小泉
人が 楽しく集える場所	子どもからじいちゃんばあちゃんまでみんなが(いろんな意味で)集える場所
	新しい待ち合わせ場所
	人がたくさん集まることができる場所
	「楽しいからもっと居たい広島」
	赤とか、道とか、イベントとか人がつながる！
	ワクワクする都市環境
	そうだ！！一度外に出てみよう
	常時イベント
	イベント
	楽しさ
歩行者天国	
徒歩、自転車で 回遊できるまち	歩ける都心のにぎわいづくり(車の乗入排除)。トランジットモール化。
	市民が歩いて、一日を楽しめる仕かけ(ストーリー)をつくる
	子供もお年寄りも観光客も歩いて楽しめる特色のあるまち
	Artとデザイン。少々強引でも整理しよう。→広島駅と紙屋町・八丁堀をつなぐアクセスに アートを設置作品を楽しみながら、散歩できる街づくり
	広島駅と紙屋町を結ぶにぎわい道路(通路)
	自転車道の整備
	自転車中心のまちづくり(交通安全ルール、レンタサイクル、駐輪場、専用道路)
	自由な移動
	人の流れ
	回遊する仕組み
	案内
	街灯
	社会生活のルール 例:自転車のマナー

カテゴリ	広島の都心の未来には、これが最も必要！！
暮らしやすいまち	子育てをココでしたいと思われる都市→自然との調和、歴史との調和、文化との調和、デジタルとの調和、世界との調和
	スポーツや自然を楽しめる、人間らしい健康な暮らしができるまち
	住みよい場所に子供がずっと住んでいく
「ひと」の力と魅力	物よりも先に善き人に。善！ヒト！
	人と教育
	人が魅力的なの大事
	ヒトの力。やさしさ、思いやり、親切な気持ち
	ヒトの力、つながり、やさしさ、親切(思いやり)
	人とつながりが持てる場
	ヒト
	元気な人がたくさん
	人と人とのつながり。やさしさ、思いやり、親切な気持ち
	人のやさしさ、おもいやり、親切にする気持ち
	人々(ひとびと、tourist)“自由都市”
	強いリーダー
	人口
参加と協働	良くしていきたいと熱意のある人が語る機会。今日みたいに！！
	広島都心の未来には平和都市広島を語れる「市民のおしゃべり」が必要
	まちづくりを話す場所(住民参加みんなて話せる拠点をつくる)
	広島の良さを話す機会をつづけていく
	一人一人が夢を行動に移すこと
	主体性
	協働参画
	市民のアイデア
都心のエリアマネジメント団体→民間主導でいますぐ起こそう！「だえんの未来」協議会。幹事会社はカーブ	



ワールドカフェの様子





閉会挨拶（広島県地域政策局長 竹中 正博）



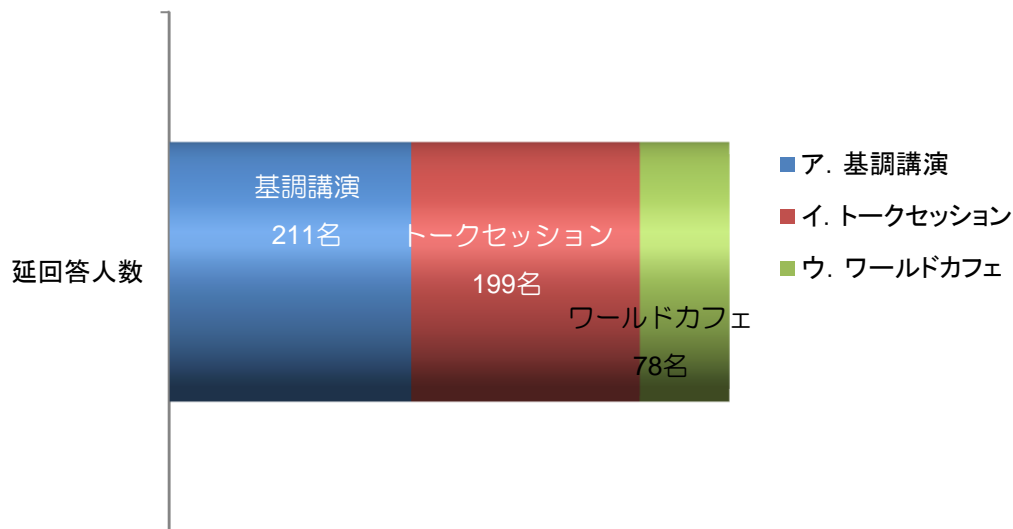
現在、広島県と広島市で都心活性化プランの作成を進めている。このプランは30年後を見据えながら目指すべき姿・将来像を描いていこうというものである。

広島の特長を活かしながらどのようなまちにしていくのかを考えていくことになるが、市民のみなさんや民間企業や団体の方々と一緒になってこのプランを創り上げていきたい。そして、このプランが、広島がすごいまち、より魅力的なまちになっていくきっかけになればと思っている。

皆さんから行政がバトンを引き継ぐのではなく、これからも皆さんと共に考え、取り組んでいくことがまちづくりには重要であるため、本日の場に限り今後とも共に考え、取り組んでいくをお願いしたい。

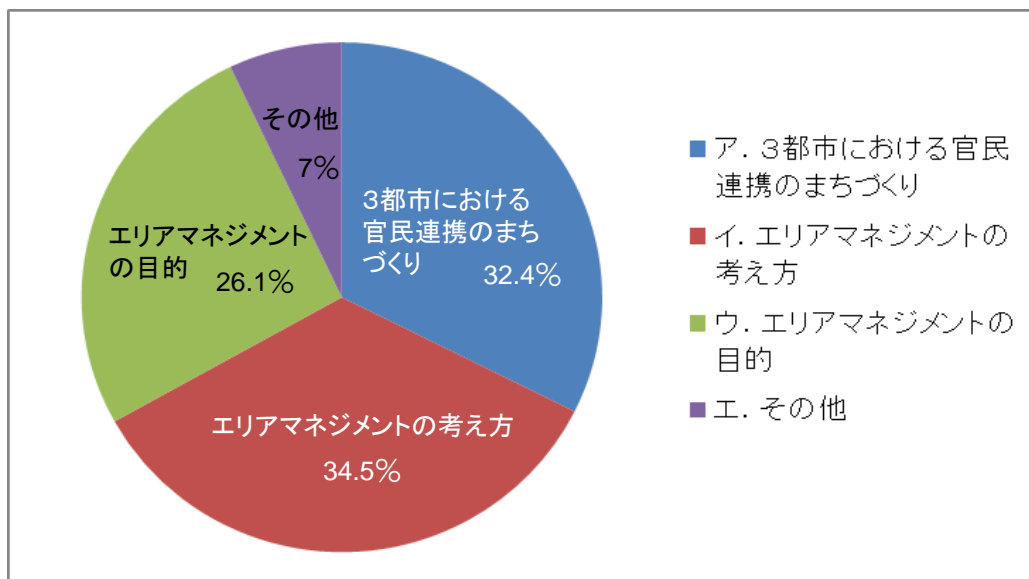
参加アンケート

質問1 本日参加されたプログラムは何ですか。該当するものすべてに○を付けてください。



質問2 基調講演について、お伺いします。

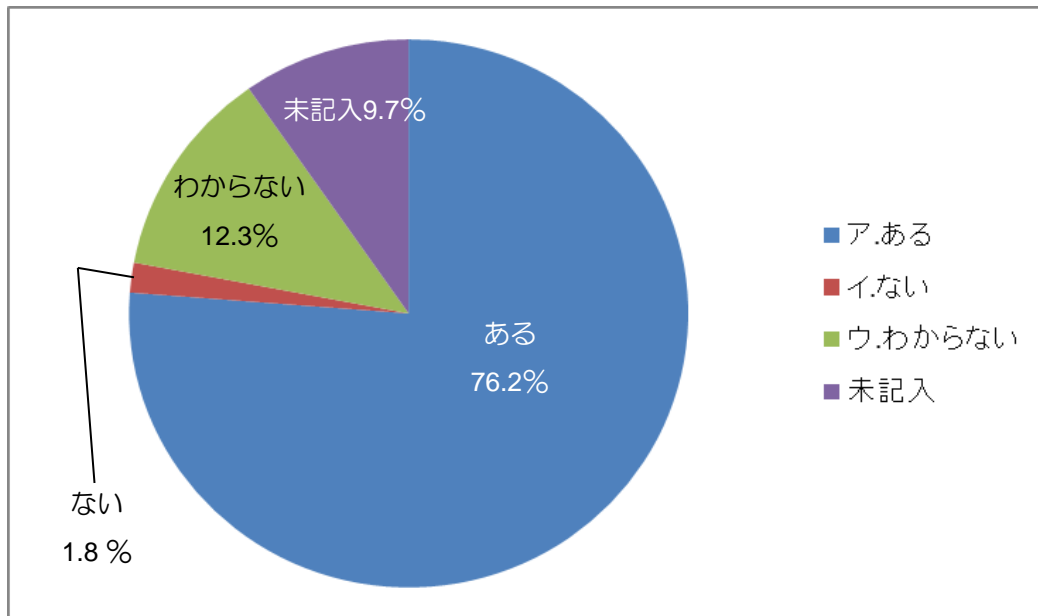
(1) 一番印象に残った内容は何ですか（複数回答可）



■その他のコメント

- ・海外の事例
- ・大阪・福岡・名古屋の近況
- ・広島市についての話
- ・公共空間の活用。ブライアントパークの紹介。
- ・BID・TIF
- ・これからのまちづくりの考え方(ソフトなルールによる方向性)
- ・レベニュー債
- ・公共で補助金という発想ではなく、お金を出し合って、付加価値を高める、協働するというしくみ！
- ・エリアマネジメント活動の組織化、運営

(2) エリアマネジメントに興味がありますか。

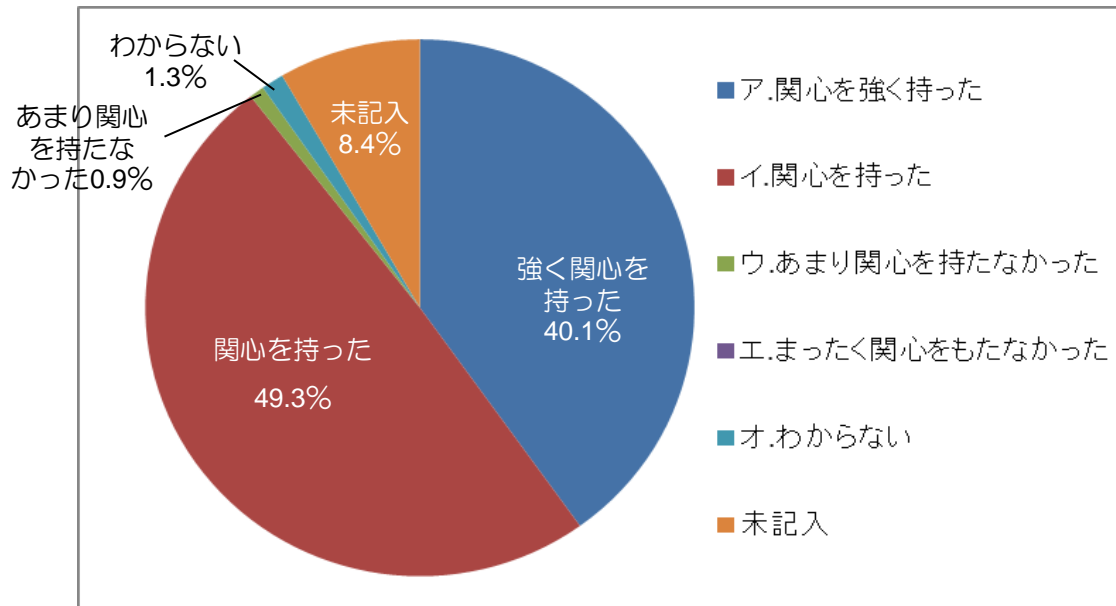


質問3 トークセッションについて、お伺いします。一番印象に残った話は何ですか。

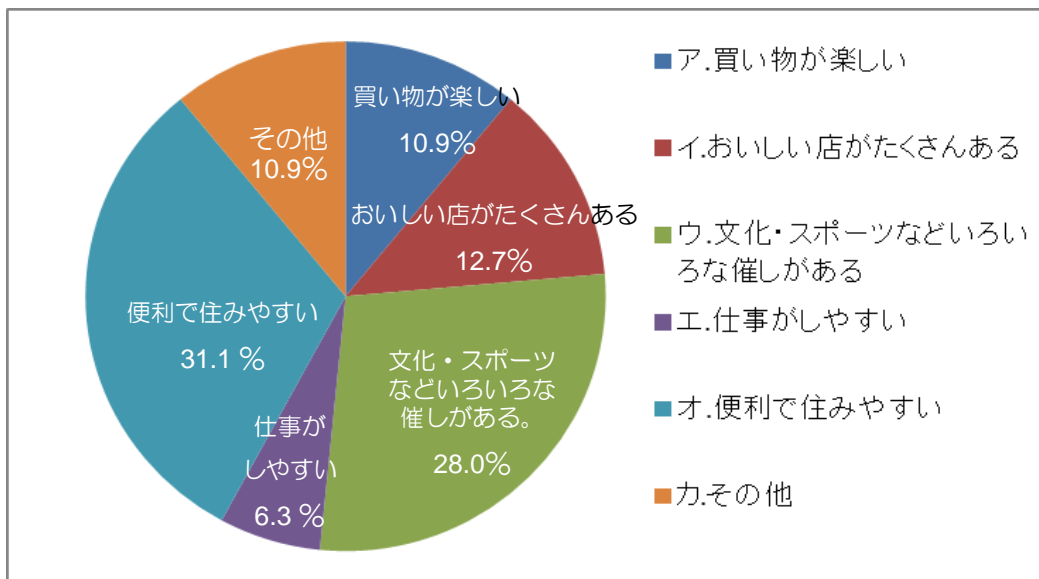
(いただいた意見から一部抜粋)

- ・湯崎知事が話された「welcomeなまちづくり」が一番印象に残りました。(にぎわいのあるまちづくりをする上でオフィスビルなど活用するという発想がなかったので、自分にとっては新鮮に思いました)
- ・知事が話をして「広島のマチってこんな感じというのがない」という点がとてもしっくりきました。また小林氏の「都会の匿名性」が大事というお話も印象的でした
- ・湯崎知事の海外での話
- ・松井市長の市民の合意形成をしながら都市づくりをしていくという話。住民の合意及び参加なしにはエリアマネジメントは成立しないのだと実感した。
- ・松井市長の川の駅、西国街道を意識したまちづくり。共通の資源を持って方向性をつくる必要がある
- ・市長の「エリアごとに役割を持たせる」話
- ・”だえんの未来”について、広島市長の構想がおもしろかった。
- ・松井市長の西国街道を活用した構想は大切だと思う。歴史を振り返り、よみがえらせることは大事です。
- ・松井市長から「だえん」の街並みを説明してもらって、イメージがわいた。もっと広く市民に考えを伝え、活用できるものを皆で考えていく活動を増やしていただきたい。
- ・みんなが集える場所がもっとあればいいという意見
- ・絵を鳥瞰ということ。ビジュアルで多くの人に同じ方向を向いてもらうのに必要なこと。
- ・商業施設をビルの1階につくって、貫通通路をつくらうという話
- ・カーブ。にぎわいのあるまちづくり。
- ・広島はコンパクトな街(野村さん)。
- ・松本さんの「行く場所が少ない」。野村さんの「カーブのちから」。
- ・マンションのエントランスや駐車場が街並みを壊す。広島も同じ。横浜は条例で対抗。一店舗を入れる。
- ・広島はコンパクトで便利であり、住みやすい街ではあるが、ゲストの松本さんがおっしゃったように遊ぶ場所が少ないという意見に非常に共感を持ち、印象に残った。
- ・広島のみまちづくり→広島ならでは。広島のいいところ。川の利用。
- ・行政主導ではなく、エリア内の意志で方向性を持って進めるエリマネが今後必要になること。

質問4 このイベントに参加して、広島之都心に関心を持ちましたか。



質問5 広島之都心の魅力は何だと思いますか（複数回答可）。

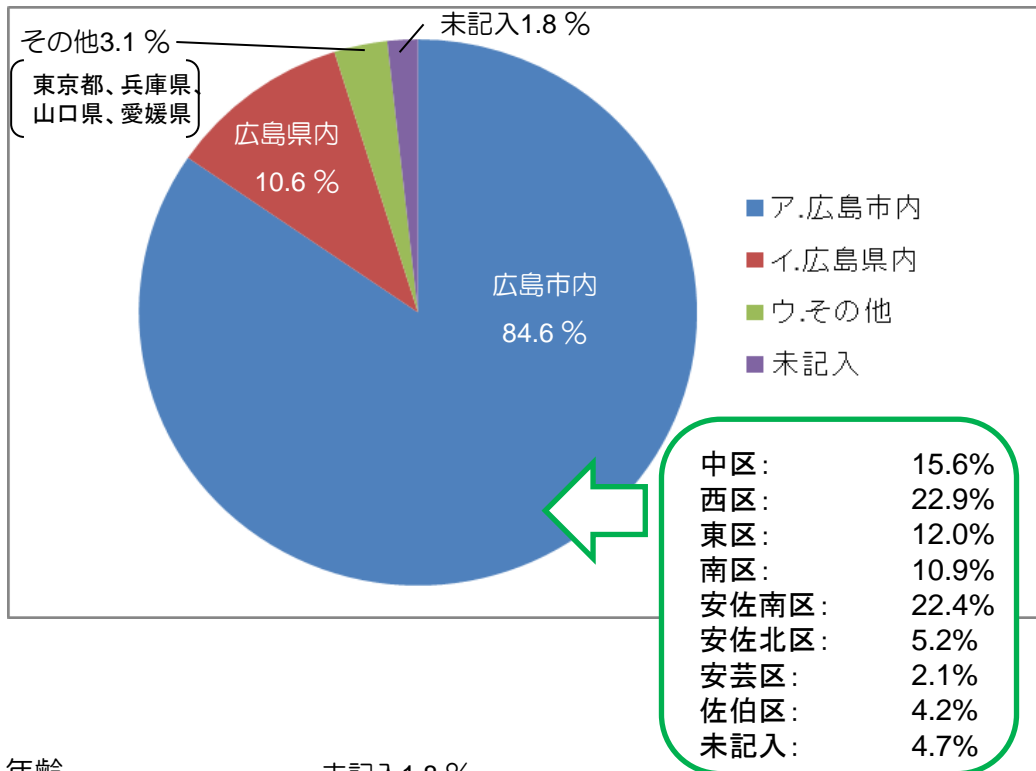


その他の意見（抜粋）

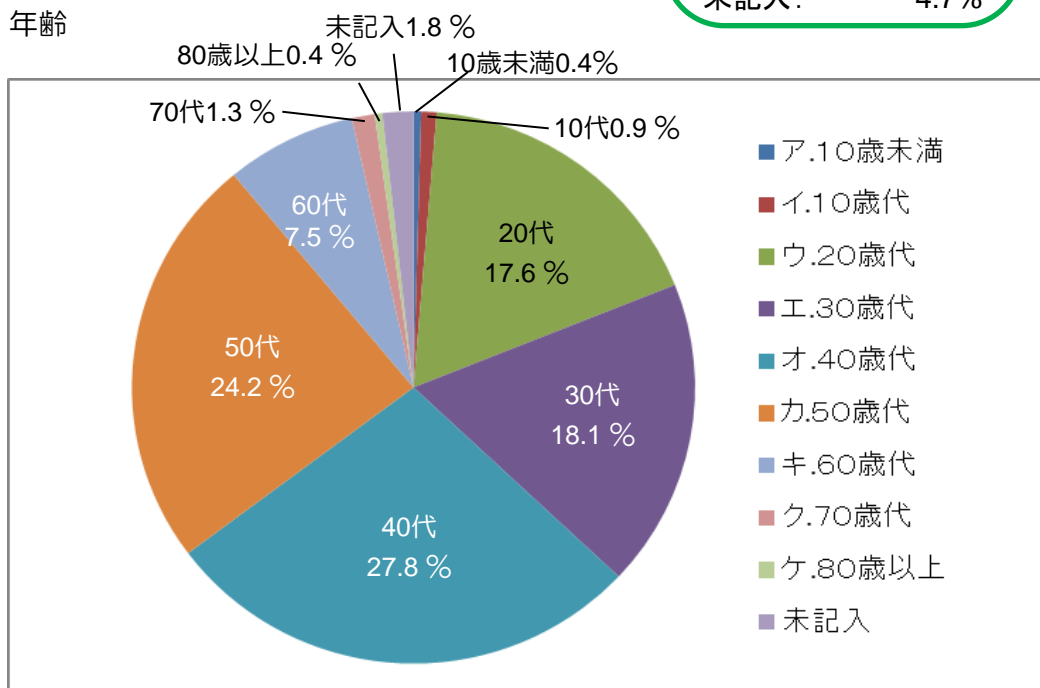
- コンパクトで歩ける、いろんなたまがある
- にぎわいがある
- 住みやすい
- 歩くのが楽しい
- おもてなしの心がある
- 山や川、海が身近であること
- 徒歩圏サイズであること。緑豊かなこと。
- 日常的に楽しめるところが欲しい（文化日本・広島伝統に触れることができる）
- 異空間を感じられるところ、生活空間とは違った体験が出来る場所
- 世界遺産が2つある。見る・来る・価値のある都市
- 平和の発信力
- まちがコンパクトに何でも揃っているところ、適度に都会で田舎
- 移動しやすい範囲にいろいろな物が集中していて使いやすい
- 水辺が多いこと。水辺が開放されていること。
- 自然が多い。緑と水の都。

質問6 ご自身のことについて、差し支えなければお答えください。

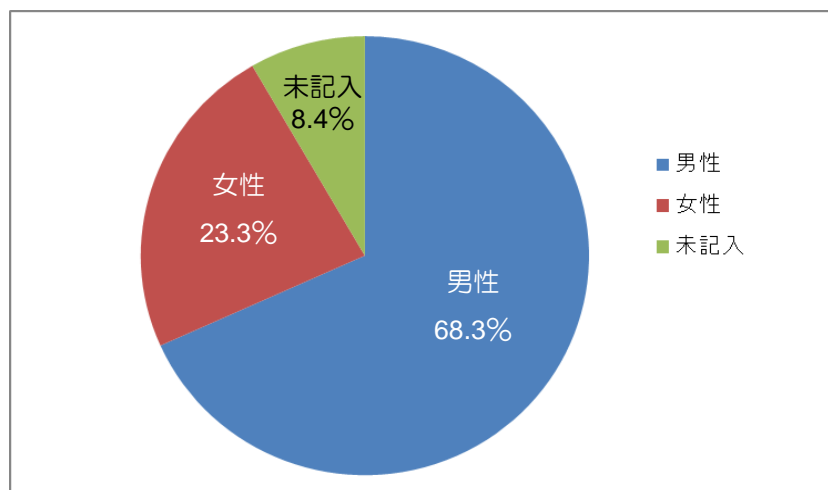
(1) お住まい



(2) 年齢



(3) 性別



質問7 そのほか、ご意見やご感想がありましたら、お聞かせください。（いただいた意見から一部抜粋）

- ・エリアマネジメントも政令市には必須のものと思われま。民間企業がどうエリア意識を持つかだと思。う。
- ・広島はカーブとサンフレッチェなどたくさん魅力があるのでそれを上手く生かしたまちづくりをしたら良いのではな
いか。
- ・ワールドカフェで、民間と行政の役割分担、協働の難しさを実感した。
- ・広島都心と聞いてどこを思い浮かべるか。この辺りの合意形成共通認識からではないか。
- ・小・中・高生、外国人も来てほしいです。集多された意見をぜひ行政に活かすようにしたい。広島市立大学、尾道、
福山など美大もあるので、若いアーティストがそだつ街にしまき。
- ・広島は素晴らしい観光都市だ。
- ・ごみ問題、水源のこと、知ってる人いなかった。未来を語るためには、まず足もとから。
- ・公共施設の多様な活用(例)県庁
- ・広島都心のまちづくりのためには、県庁をはじめとした公共の建物の建替えor移転を総合的に全体的に考え、実行
する必要があると感じる。
- ・都心に本当に必要なものは何かを考えるべきだと思。う。
- ・川の自然を生かす街づくりを希望します。
- ・平和大通りが歩いて楽しい場所になってほしい。
- ・広島市、広島県が連携して、官民合同で都心のまちづくりを進めてほしい。今は都市計画がない？デタラメ？な気が
する。例えば、平和大通りにマンションだらけ、大丈夫でしょうか？
- ・広島駅エリアは再開発により、期待していますが、紙屋町エリアについても活力がもっとあればと感じた。
- ・まちづくりを行政だけでなく、民間企業や一般住民も含めて、一緒になって、考えることは、非常に重要で、今後のト
レンドになっていくものと考えている。
- ・地下の延伸、福屋・三越に雨にぬれずに入れるようにする。土日の銀行前が通路になっている。365日使えない
かな。早く球場跡地の利用方法を決めよう。土日すべてお祭り(イベント)ゾーンでいいと思。う。サッカー場なら
地下利用を考えること。
- ・広島市の経済を持続的に成長させるには行政と民間、市民の協力が必要な事を改めて実感した。市街地に公共
施設、土地が多いので有効活用する事でさらなる魅力があるまちづくりと県外からの企業・住民の誘致を促進でき
ると思。う。
- ・「自分のまち」という気持ちを一一般の方にもってもらうにはどうしたら良いのだろうか...この答えが広島の未来につ
ながるような気がする。

みんなで話そう
～だえんの未来～

都心のまちづくり
“ひろしまワールドカフェ”